



学校だより

横浜市立秋葉中学校

令和3年9月1日発行



電話811-6773 FAX813-9438

自助・共助・公助

校長 松本 忠司

夏休みが終わり、学校が再開しました。でもまだしばらくは熱中症などにも気をつけ、心身ともに健康に過ごしてほしいと願っています。現在は緊急事態宣言が発出されている状況のため、学校では分散登校の実施や下校時刻を早めるなど、教育機会を確保しつつも新型コロナの感染対策を実施いたします。ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

ところで、教職員の優先接種が始まり、先日、私も東戸塚地区センターで新型コロナワクチンの接種を受けることができました。当日は静かな環境で比較的スムーズに接種でき、副反応もほとんどありませんでした。最近の変異株は従来のものより感染力が強いといわれています。ワクチン接種は任意ですが、重症化を軽減する効果があるともいわれています。まだ予約がとりにくい状況もあるようですが、接種対象は12歳以上となっていますので、生徒を含めて可能な方は、ぜひ接種することをご検討ください。



<生徒用の備蓄品>

さて、9月1日は「防災の日」です。これは大正12年のこの日に関東大震災が起こり大きな被害が出たことや、台風被害の多い時期であることから、国土省(現国土交通省)が昭和35年に制定したものです。今年も防災意識を高めることなどを目的に、全国各地で「総合防災訓練」が行われますが、本校でも例年は、この時期に大地震を想定した避難訓練を実施しています。

防災対策や災害対応を考えると、「自助」「共助」「公助」という考え方があります。「自助」とは自分(や家族)の命を自らで守ることや備えること。「共助」とは近隣が互いに助け合って地域を守ることや備えること。「公助」とは、区をはじめ警察・消防・ライフラインを支える各社などによる応急・復旧対策活動のことです。市民の生命や財産の安全を図ることは国や地方公共団体の責務です。しかし、大きな災害が発生した場合には、広範囲の各所で被害が起きていますので、「公助」によってその全てに迅速な対応をしてもらうことは難しいということが想定されています。

「自助」は防災の基本です。自分の命を自分で守るためには、日頃からの様々な備えが必要です。災害が発生すると電気・水道などのライフラインや食料などの流通が途絶えることがあるため、避難グッズの準備とともに非常食を最低でも3日分備蓄することが推奨されています。平成7年の阪神・淡路大震災では、犠牲者の8割以上が建物の倒壊や家具の転倒による窒息死・圧死でした。また東京消防庁による平成15～20年に起きた大きな地震における負傷原因の調査では、負傷者の約30～50%が家具類の転倒・落下によるものだったことが明らかになっています。命を守るだけでなくケガをしないためにも、家具類の転倒・落下・移動防止対策を再確認することが重要です。

しかし個々の人の力には限界があり、災害時は周囲の人たちとの「助け合い」も必要になります。ですから町内会や自治会などで防災としての助け合い体制を構築したり、災害発生時に周囲の人と助け合ったりする「共助」もとても大切なことです。そしてまず自分を守る「自助」は、家族や隣人を助けに行くことができる「共助」のベースになります。「誰かを助けることのできる人」が多い地域は、災害に強い地域でもあります。災害を完全に防ぐことはできませんが、被害を減らすこと(減災)はできます。日頃から「もしも」の時のことを考え、みんなで備えておくことができれば、確実に「減災」につながります。皆様もこの機会に、家族や身近な人と、話し合ってみてはいかがでしょうか。

夏の部活動・生徒活動

サッカー

サッカー部は3年生5名、2年生15名、1年生18名で活動しています。4月までは1度も勝てなかったチームでしたが、たくましく成長した姿を示しました。新チームは5名の3年生の存在の大きさを感じ、もがきながらも明るくがんばっています。



野球

野球を通じて、礼儀を重んじる心や、仲間を信じる力を身に付けてきました。秋葉中野球部の伝統を引き継ぎ、全国大会出場へ向けて日々練習に励んでいます。



陸上競技

猛暑日が続く中、秋の大会に向けて練習に励みました。3年生も勉強や学級での活動とのバランスをとりながら、練習に参加しています！7/31に行われた戸塚区民大会では、多くの選手が自己記録を更新し、弾みをつける大会となりました。



バスケットボール

3年生は女子部員だけで活動し、最後の総合体育大会は新人戦横浜市2位の中学校に10点差でくらいついて戦いました。最後は負けてしまいましたが、善戦したと思います。

1・2年生は夏休みの練習をしっかりと新人戦に向け、チームの形を作りたいと思います。



男子ソフトテニス

3年生はこの一年間で確実に成長しました。しかし、あと1ポイントで市大会、県大会を逃すという結果になりました。ただ、この3年間の努力は無駄ではありません。将来、必ず一生懸命やったことが役立ちます。

3年生の思いは1・2年生が受け継ぎ、必ず上位大会に進出します。



女子ソフトテニス

3年生の最後の試合では、一人ひとりが攻める姿勢を貫き、最後まであきらめずに自分たちの力を出し切りました。『県大会出場』という目標は、後輩たちが引き継いでいきます。



男子バレーボール

“県大会ベスト16”という目標を掲げて、2年生7人、1年生8人、計15人で新チームがスタートしました。まだまだ多くの課題はありますが、ひとつひとつ課題をクリアしていけるように練習に励んでいます。



女子バレーボール

3年生は、限られた時間の中で仲間とともに最後まで部活動をやり遂げました。その背中を見て、1・2年生は暑い中での練習をみんなで乗りきりました。夏での練習が必ず秋につながると信じて新人戦に向け、チーム一丸となって戦いたいと思います。



バドミントン

今の3年生は、1年生の時から、感染対策で十分に練習ができませんでした。最後までよく頑張りました。男子ダブルスで相手のシードペアを破り、実力は県大会クラスであることを証明しました。8月9日に三年生の慰労会を開き、3年生の想いを受けついで1・2年生が頑張っています。



茶道

新しく3名の1年生を迎えました。良い香り、落ち着いた雰囲気、程よい緊張感と静寂の中、和室で部活動を行っています。コロナ禍により活動が制限される中ではありますが、茶道という日本の伝統文化に触れ、人を想う心や感謝の心を大切にしたい部を目指して日々の稽古に励んでいます。



手芸

今年は一年生がたくさん入部し、総勢17名で活動しています。今年度は個人作品と共通作品を作っています。共通作品としてまずはウサギのぬいぐるみやマスクなどを作成しました。そして秋葉祭に向けてテーマをみんなで考え、作品作りにも取り組んでいます。秋葉祭では、今まで以上に多くの作品を展示できると思いますので、楽しみにしててください。



吹奏楽

初めての吹奏楽コンクール出場を通して、3年生を中心としてひとりひとりが大きく成長できました。3年生が帰ってきて一緒に作るスプリングコンサートに向けて、そして来年の吹奏楽コンクールに向けて、日々の練習に励んでいます。



美術

今年度は26人の大所帯になりました。それぞれが思いおもいの絵を描いたり、秋葉祭や区の作品展に向けて共同作品に取り組んだりしています。今年度は体育祭の看板と入・退場門を作るというミッションを請け負っています。日頃は自由な雰囲気で行っていますが、1年間に決まった数の作品を仕上げなければならないという約束があるので、必死にならない時期もあります。



囲碁

7月21に行われた市大会にて、3年生のチームが出場した団体戦で準優勝の成績を収めました。2年生は交流戦、1年生は段級位認定戦に参加し、それぞれ練習の成果を発揮することもできました。

日々の活動では、オンラインで他校との対局を取り入れるなど、次の大会に向けて頑張っています。



柔道(新設)

今年度スタートした柔道部は男子3名、女子2名の計5名で活動しています。

みんな初心者からのスタートで、まずは3級の取得を目標に日々の稽古に励んでいます。

夏の大会は出場しなかったため、新人戦が初の公式戦です。個人・団体ともに1つでも多く勝てるように頑張ります。



よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト

2年2組中島桃花さんは、7月2日(金)に行われた戸塚区審査会に秋葉中の代表として参加し『「自分らしく」を否定しない世界に』というタイトルで発表をし、区代表に選ばれました。その後7月26日(月)に横浜市本選に出場し(今年度はビデオ審査)、8月25日(土)に横浜市長より「よこはま子ども国際平和プログラム子ども実行委員」に委嘱され、1年の任期で活動を行うことになりました。



横浜市中学校英語弁論大会

7月27日(火)に西公会堂で行われました横浜市英語弁論大会に秋葉中学校の代表として、岩井海音さん(3-4)が出場しました。自分の経験をもとに「Challenge For The Future」というタイトルで失敗を恐れずに挑戦することの大切さを堂々と伝えました。



全日本中学校英語弁論大会 神奈川県予選横浜ブロック 予選会

7月29日(木)に西公会堂で行われました英語弁論大会に秋葉中学校の代表として田村弥土さん(3-4)が出場しました。「The Food We Eat」というタイトルで自分の得意料理や食べる事の大切さ、またフードロスの問題を表現力豊かに伝えました。



専任コーナー



今年の夏休みは新型コロナウイルスの感染状況の悪化によって3日間延長され、いつもより少し長い休みになりました。夏休み中も感染症対策として様々な制限がありましたが、生徒たちは日々の部活動や学習を通して、自分なりの成長ができたのではないのでしょうか。特に部活動では厳しい暑さの中での練習を乗り越えると、体力・技術が身に付きパフォーマンスが向上します。さらに、東京オリンピック・パラリンピックでの選手たちの活躍は、生徒たちにとって良い刺激になったと思います。私は女子バスケの躍進（特にベルギー戦のラスト3分）に大興奮でした！今は部活動が思うようにできませんが、活動が再開できた後の活躍を期待しています！！

さて、最初の2週間は分散登校でのスタートになり、来週には前期期末テストがあります。いつもと違う環境に戸惑うかもしれませんが、皆で手洗い・マスクなどの基本的な対策を徹底し、安心・安全な学校となるよう過ごしていきたいと思います。また、夏休み中に心配事や不安を感じた子どもたちもいるはずです。ご家庭で何かお気づきのことがあれば、遠慮なく担任や学年職員、専任までご相談ください。

生徒指導専任 菱沼 直也

夏休み明けの学校再開に向けて

夏休み中に、学校用務員の星野さんや桑島さん、業者の方々が教室や廊下、階段やトイレなどをきれいに掃除してワックスを施し、ピカピカにしてくださいました。清々しい空間のもとで、学校生活を存分に楽しみながら、学習にもしっかりと取り組んでほしいと思います。



★伊藤 朋美 先生がご出産のために休暇に入ります。★

深澤 良江（ふかさわ よしえ）先生

9月から伊藤先生のかわりに英語科として着任することになりました。

皆さんと一緒に英語の教科を通して学校生活が送れることが楽しみです。よろしくお願いします。

